

2008年11月7日 No. 94

全国一般全国協

全国一般労働組合全国協議会

編集発行人 遠藤 一郎

東京都港区新橋5-17-7 小林ビル

TEL 03-3434-1236

FAX 03-3433-0334

金融危機、実体経済後退局面での秋期年末闘争 中小、非正規労働者の生活と権利を守ろう！

生活防衛の大幅一時金獲得、中小での倒産、解雇反対、 非正規労働者の雇い止め攻撃反対の闘いに取り組もう！

金融危機は、全世界を覆い、日本の株価は7000円台を割り込み、円の急騰は80円台に突入しようとしている。実体経済も急速な後退局面に突入、大リストラと騒がれない大リストラが進行し始めている。製造業派遣の中途解約がすすみ、臨時、パートの切り捨てが急激に拡がっている。中小企業では賃金遅配、倒産の動きが始めている。不動

産関連の一部上場企業の倒産が続き、すそ野の広い電気、自動車の生産調整がそれに続いている。労働者切り捨て、倒産、雇い止め解雇を許さない闘争に全力で取り組もう。

年末一時金闘争も大事だ。輸出関連大手が急速に渋るなか、生活必需品の物価高は引き続き、生活を直撃しており、生活防衛の大幅一時金獲得の闘いの重要性が増している。

労働者派遣法の抜本改定を求める闘い

労働政策審議会建議が9月25日採択され、10月24日厚生労働省は法案要綱を労働力需給制度部会に提示した。29日の部会で採択、同日、労働審でも確認され、11月4日閣議決定、同5日上程された。

専門業務に限定すること、日雇い派遣・登録型派遣を禁止すること、派遣マージンの上限規制をすること、違法派遣を受け入れた派



遣先の「みなし雇用責任」を明記することもっぱら派遣を禁止することなど、我々の要求に何一つ応えることなく、逆に、常用型派遣事前面接解禁、雇い入れ通知義務免除など規制緩和策を盛り込んだ今回の建議に基づく法案化を許してはならない。

日弁連も、今年の人権大会で「貧困の連鎖を断ち切り、全ての人が人間らしく働き生活する権利の確立を求める決議」を採択し、こ

の間の労働分野の規制緩和と、福祉切り捨て政策を問題にし、派遣法の抜本改正

●派遣法抜本改正要求集会

日時/12月4日(木) 午後6時～

会場/日比谷野音

主催/労働者派遣法の抜本改正を目指す共同行動

●全労協・09春闘討論集会

日時/12月13日(土) 13:00～17:00

会場/新橋・交通ビル(地下ホール)

講演/東海林 智(とうかいりん・さとし)氏
毎日新聞・労働部記者
著書「ルポ貧困の現場」

変更

全国一般全国協のホームページ・アドレス

(新HP) <http://www.nugw.jp>

(旧HP) <http://www5f.biglobe.ne.jp/~zenkokukyou/>

★11月10日開設予定、引き続きよろしくお願ひします。

をはじめとする規制強化を訴えている。
見せかけの法改正ではなく派遣法の抜本改正を求める闘いを今秋最大の課題として取り組もう。

12・4全国集會が呼びかけられている。全国各地で派遣法抜本改正を求める集會、街頭宣伝を繰り広げ、12・4に全国結集しよう。

10・9

見せかけの法改正を提案する 労政審建議を吹っ飛ばせ!

派遣法の抜本改正を求め院内集會に180名結集

格差是正と派遣法改正を
実現する連絡会(派遣ユニ
オン、ガテン系連帯等で構
成)が主催する「労政審建



10・9 参議院議員会館

議に異議あり!10・9見せ
かけの改正ではなく派遣法
の抜本改正を求める集會」
が、参議院議員会館で開催
された。

労政審建議は、日々派遣
を禁止しないままの一ヶ月
の雇用期間制限と言うごま
かし、専門業種に限るべき
との要求には一切触れず無
視、みなし雇用は「雇用申
し込み勧告制度」でと、見
せかけの改訂で、逆に、常
用型派遣における規制緩和

(派遣先の雇用申し込み義務
の免除、事前面接等の禁
止の解除)がされようとし
ていると、主催者挨拶が問
題点を指摘した。その後、
雨宮処凛さん(作家)、鎌

田聡さん(ルポライター)、
斎藤貴男さん(評論家)、
湯浅誠さん(もやい代表)
4人のリレートークが行わ
れた。派遣法が悪法であり、
今日のワーキングプアを生
み出した元凶であり、本
来廃止すべき(鎌田)だが、

当面99年改定以前の業種規
制に戻すべきだと述べた。
社民党福島党首、共産党
志位委員長を始め、両党国
會議員が多数駆けつけ、「こ
んな建議をぶっ飛ばせ」と
檄を飛ばした。続いて、フ
ルキャストユニオン、ガテ
ン系連帯、全国一般東部労
組など現場労働者から派遣
労働の生々しい実態が報告
された。

さらに、日弁連人権擁護
大会の「貧困の連鎖を断ち
切り、全ての人が人らしく
働き生活する権利の確立を
求める決議」が紹介され、
幅広い各階層の運動の結
合が感じられた。

最後に、12月4日に、日
かう人が足を止めて注目し
ていました。当日は旅行博
会場においてJATAへの
申し入れも行いました。対
応に出た職員員の「申し入れ
書を受け取ることはできな
い」など不誠実な対応に、
参加者からは抗議の声が次々
に上がりました。塩田委員
長をはじめHTS支部は、
これからもみなし労働撤廃、
派遣添乗員の労働条件改善
を求め闘っていきます!

9・21

世界旅行博で アピール行動

東京東部労組HTS支部

9月21日、東部労組HT
S支部は、東京ビッグサイ
トで開催された「世界旅行
博」へのアピール行動を行
いました。旅行博の主催者
である「JATA」(日本
旅行業協会)はこの間、派
遣添乗員の超長時間労働や

残業代不払いを容認し、添
乗員の待遇改善に何ら取り
組もうとはしていません。
雨の中、当該添乗員はじ
め仲間総勢50名超える行動
となりました。ビッグサイ
ト正門前、旅行博会場への
動く歩道下で大型プラカー



9・21「世界旅行博」行動(東京ビックサイト)

ドを掲げ、シユプレヒーコ
ルをおこなうと、会場に向

比谷野音を一杯にする「派
遣法抜本改正を目指す全国
集會」の成功を共に勝ち取
らうとの呼びかけが行われ
た。

10・21 大美堂印刷争議支援共闘會議 発足、闘いは第二ステージへ

6月27日に破産準備を口
実に一方的解雇通告された
ユニオンネットワーク・京
都に結集する大美堂労組の
24名の仲間は破産占拠闘
争を継続しながら、京都銀
行や中小企業金融公庫に向
けた要請行動などをこなっ
てきました。

10月21日には、大美堂闘
争勝利決起集會が大美堂労
組組合員も含め50名余の結
集で開催されました。司會
の井上さん(中西印刷)は、
集會の目的を1年分の退職
割増金の獲得、全員の再就
職にむけた大美堂争議第二
ステージの本格的開始の大
衆的確認と、その実現に向
けた支援共闘會議結成であ
ると提起しました。森山書
記長の経過報告、大阪、京
都の全印総連関係者、地元
地区労の挨拶などがおこな
われ、田中啓司(京都総評
常任幹事、自立労連)さん

を議長とする大美堂印刷争
議支援共闘會議の役員体制
が確認されました。
最後に奥田委員長の決意
表明と支援要請がおこなわ
れ、当該組合員の団結カン
バローで締めくくりました。
10月24日におこなわれた
債権者集會では、組合員支
援あわせて15、6名が参加
し、中路元社長の経営責任
の追及と、債権の確保など
を堂々と主張しました。



10・21 大美堂構内(西京極)

08秋季・年末闘争をスト権確立し闘うぞ！

昭和電気鉄鋼労組

08春闘においては、県春闘討論集会や地場中小学習会に参加して、組合員アンケート調査を反映させた独自の春闘資料を作り上げた。平均年齢40・4歳、平均基本給24万円台という低賃金の我々は、生活苦からの一歩でも前進できる回答を経

営陣に求めた。一次回答4、912円から、団体交渉3回、三役交渉4回を経て、最終回答・平均5、212円での妥結が臨時大会で確認された。

日本鑄鍛会（77社）の本年度月平均24、940tのうち、当社は建設機械中

10・19 「貧困なくせ！」2千人が立ち上がる 反貧困世直しイッキ大集会

10月19日、多様な市民団体・個人や労働組合が垣根を越えてつくる反貧困ネットワークが主催して「反貧困世直しイッキ大集会」が、東京・明治公園で開かれ、約2000人が「貧困をなくせ」と声をあげました。

午後1時に始まった全体集会では、参加者が、国連の「貧困撲滅のための国際デー」に合わせた世界同時アクションとして「STAND UP」の文字とともに一斉に立ち上がり、貧困解決をアピール。その後、労働や社会保障など12の分

科会に分かれて話し合いました。

労働分科会では、作家の雨宮処凛さんが司会のもと青空シンポジウムを開催。その中で、東京東部労組・H.T.S支部の江口副委員長は「偽装みなし労働」により長時間労働とただ働きを強いられている添乗員の過酷さを指摘。雇用保険や社会保険の加入など、組合でかちとった成果も説明しました。すかいらーく過労死遺族で組合員の前沢さんは、会社に再発防止を求めている考えを明らかにしました。



10・24 国鉄闘争勝利！中央集會に 1万1千余人が大結集

心に月産450t平均の計画となつている。原材料の予想以上の高騰が大きく、また来年1月より300万円程度の電力料金値上げ要請もあり、労使ともに厳しい環境にある。

08秋季労働条件向上の6項目要求、すなわち①定年65歳への延長、②永続続働慰労休暇、③裁判員制度で出勤扱い・100%賃金保障、④公休出勤の手当増、⑤夏季電力調整・出勤手当4、000円増額、⑥厚生資金60万円要求、をおこなった。同時に、年末一時金・三ヶ月74万円を要求した。ともに、厳しい回答が予想される中、回答日の臨時大会ではスト権も取りながら、団体交渉に臨んでいく覚悟だ。

集會の終わりに、労働者派遣法の抜本改正と社会保険費2200億円削減の撤回を求める宣言文を採択。

10月24日夜、日比谷野音に1万1千200人が結集して「今こそ政治決断を！JR採用差別問題の解決要求実現をめざす中央大集會」が大成功した。集會は、初めに主催の「4者・4団体」代表の国労・高橋委員長に続き、国鉄共闘会議・二瓶議長、国鉄共闘会議・二瓶議長の報告、当事者の鉄建公団訴訟・酒井団長、家族の発言があった。全労連大黒議長・全労協藤崎議長の決意表明などや、呼びかけ人を代表して鎌田慧さんから激励挨拶があった。国鉄

9月9日、厚生労働省は「多店舗展開する小売業、飲食業等の店舗における管理監督者の範囲の適正化について」と題する通達を全国の労働局に出した。通達では「管理監督者性を否定する重要な要素」として、●アルバイト・パート等の採用責任・権限がない●部下の人事考課に実質不関与●遅刻、早退等に不利扱い●時給換算がアルバイト等の賃金額未満、等々をあげている。

管理監督者の適否については、判例・行政解釈でも従来は、出勤の自由があるかどうか、経営者と一体的な立場で仕事をしているかどうか、一般社員と比較してふさわしい待遇（賃金）が与えられているかどうか、などで判断してきた。

今回の通達で示す判断要素は極めて不適切な内容である。こうした判断要素さえクリアしていれば管理監督者だとして利用する経営者が出ることが懸念される。事実上、法的要件のハードルを下げるものと批判せざるを得ない。

逆に「名ばかり管理職」をいっそう増やす方向に政府が増やしたものと云わざるを得ない。

私たちは、厚生労働省が今回の通達を撤回し、「名ばかり管理職」を一掃するために、これまでの判例や行政解釈を前提にあらためて要件を厳格に定める通達を出すよう強く求める。

(2008年9月10日)

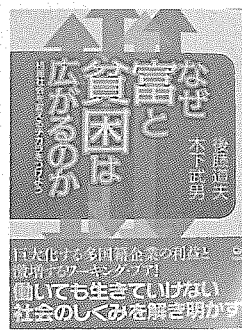
も止んだ。全国一般全国協会は、北九州・徳島・京都・栃木など2000人が結集し、銀座デモを貫徹した。

厚生労働省「名ばかり管理職」9・9通達に関する声明 (要旨)

全国一般全国協議会

学習会運動を全国的に行おう!

木下武男先生と後藤道夫先生が、低迷する労働運動の再生を願って『なぜ富と貧困は広がるのか』(2008年・旬報社)を執筆されました。首都圏青年ユニ



オンやガテン系連帯、東京東部労組が反貧困闘争に共闘して取り組む中で、木下、後藤両先生を講師にお招きして、上記のテキストを使った労働運動学校を行おうという機運が盛り上がりま

した。こうして9月5日に木下、後藤両先生を中心に首都圏青年ユニオン、東水労青年女性部、東京東部労組、東京労組のメン

バー9名が集まり、労働者教育プロジェクト(仮)第1回準備会を行いました。現在、準備会への参加を他労組、諸団体、学生、市民へ呼びかけ、来春の発足を進めています(第2回準備会は12月12日(金)18:30、東京労組事務所にて行います)。格差貧困社会が広がる中で、全国協が新しい労働運動を創造・前進させ、全国的な労働運動統一戦線を結成するために、各地で学習会運動へ取り組むことを訴えます。

(東京労組・高橋俊一)

ついに組合事務所明け渡し訴訟が

安倍川労組支援共闘

10月16日、静岡地裁より組合事務所明け渡し訴訟が静岡地裁から送られてきました。訴状によれば会社は、明け渡しに加え「仮執行」を請求しています。もちろん予定していた「応訴」で対抗が進められています。

また、安倍川労組が支援共闘とともに申し立てた労働委員会の闘いでは、会社側から「支援共闘の罵声」

のみが強調される準備書面が出されてきました。斎藤

10・23 斎藤梱包の偽装請負裁判も

そして、偽装請負に対して、直接雇用と損害賠償を求めた裁判も翌日の10月23日より静岡地裁で始まりま

す。さらに安倍川労組は、転勤した岩淵での組合掲示板の貸与をめくり「また、会

梱包の人達がまさに解雇されようというときに不誠実な対応をとり続ける王子特殊紙に対して、交渉中に多少声が大きくなるなどというのは当たり前です。

社施設内において組合の文書を配布するときはあらかじめ会社の承認「などというところでもない協定をめぐって交渉を続ける」とともに、組合の自治に基づきビラの配布を続けています。

10・9 争議終結・報告激励会

韓国シチズン精密労組・応援する会



10月9日夜、「韓国シチズン精密争議終結」報告・激励会」が、応援する会の主催で開催された。会場の

東京飯田橋SKプラザには、韓国民主労総・金属労組慶南支部キム副支部長、シチズン精密労組のウ代議員・チェ副分会長・チョン分会長代表3人が来日し、応援する会など約50人が集まった。昌原(チャンウォン)現地組合員の近況を知らせるビデオレター、闘争歌やユルトン(律動)曲に合わせた動き)もあり、明るい笑顔と和やかな雰囲気いっぱいだった。

さる9月12日に、新会社JT精密と合意し協定が結ばれた。その内容は、9月18日操業再開、会社側の労組14名の解雇取り消し、解決和解金の支払い、雇用安定のための日本シチズンからの2年間の受注物量確保、2008年賃金団体協約の維持など。シチズン本社の一方的な株式売却方式による資本撤収を許さず、韓国での工場占拠と粘り強い交渉、そして4ヶ月間の日本遠征闘争をもって、争議勝利をかちとることができた。

9・25 原子力空母ジョージワシントン入港阻止に4800人

9月25日、日が暮れたヴェルニー公園で、「原子力空母ジョージ・ワシントン入

のシュプレヒコールを基地ゲート前であげた。

港阻止9・25全国集会」が開催された。主催者の予想を大きく超える4800人が集まった。全国一般全国協、全港湾、全日建など全労協のなかま約百人は、デモ隊の第二梯団をつくり、ともに怒り

の艦載機の岩国移駐にむけた米軍住宅建設に対して、昨秋の岩国市民一万人反対集会の力がだんだん大きくなっているという。横須賀でも、昨年か



9・25夕、全国集会(横須賀ヴェルニー公園)

らこれまで8万6千人分の署名を集め住民投票条例制定運動を起こしてきた。「原子力空母いらない!」のたたかいは広がり、新段階に入った。